

「大豆でできた除菌・消臭スプレーの発育鶏卵に対する毒性確認試験」

株式会社 食薬衛生研究所



1. 目的  
大豆でできた除菌・消臭スプレーの発育鶏卵に対する影響の有無を確認するために実施した。
2. 試験委託者  
名称  
所在地  
委託責任者
3. 試験実施機関  
名称 株式会社 食環境衛生研究所  
所在地 群馬県前橋市荒口町 561-21  
運営管理者 久保 弘
4. 試験実施者  
試験責任者 松本 彰平  
試験担当者 上谷 智英
5. スケジュール
  - 1) 試験開始日 平成 21 年 8 月 12 日
  - 2) 試験終了日 平成 21 年 8 月 17 日
  - 3) 報告書作成日 平成 21 年 8 月 18 日
6. 報告書作成者  
試験担当者 上谷 智英
7. 供試サンプル  
大豆でできた除菌・消臭スプレー
8. 試験手順
  - ① 試験管内に供試サンプルを 1ml 注入した。
  - ② 供試サンプルを 10 倍段階希釈した(10<sup>3</sup> 倍希釈まで行った)。
  - ③ 希釈後、発育鶏卵の漿尿膜腔内に試験液を 0.1mL 接種した。(各希釈段階ごとに発育鶏卵を 3 個ずつ使用した。)
  - ④ 発育鶏卵接種 5 日目に検卵し、胎児の生死の有無を確認し、発育鶏卵に対する毒性の有無を確認した。

9. 試験結果

試験結果を下記に記した。

発育鶏卵に接種 5 日目に検卵した結果、供試サンプルの原液を用いても、鶏胎児の死亡は確認されなかった。

供試サンプルの希釈濃度			
10 <sup>0</sup> 倍	10 <sup>1</sup> 倍	10 <sup>2</sup> 倍	10 <sup>3</sup> 倍
○	○	○	○
○	○	○	○
○	○	○	○

○:胎児の生存が確認された

×:胎児の生存が確認されなかった

10. 考察

今回の試験では、供試サンプルを 10 倍段階希釈し、発育鶏卵に接種した。その結果、供試サンプルを原液で発育鶏卵に接種した際にも、胎児の死亡は確認されなかった。このため、発育鶏卵に対する毒性は、極めて低かったと判断し、本試験時には、供試サンプルの原液を被験薬として用いることとした。

試験責任者名 松本彰平 